

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-307783

(43)公開日 平成10年(1998)11月17日

(51)Int.Cl.*
G 0 6 F 13/00
12/00
15/16
識別記号
3 5 7
5 4 5
3 7 0
3 8 0

F I
G 0 6 F 13/00
12/00
15/16
3 5 7 Z
5 4 5 Z
3 7 0 N
3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 13 頁)

(21)出願番号 特願平9-116705

(22)出願日 平成9年(1997)5月7日

(71)出願人 000102728
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
東京都江東区豊洲三丁目3番3号
(72)発明者 藤本 浩
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 エヌ・
ティ・ティ・データ通信株式会社内
(72)発明者 山田 達司
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 エヌ・
ティ・ティ・データ通信株式会社内
(72)発明者 宮本 久仁男
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 エヌ・
ティ・ティ・データ通信株式会社内
(74)代理人 弁理士 木村 滉

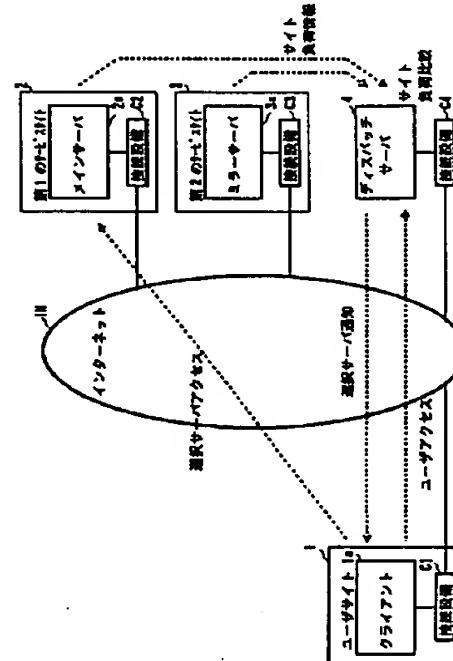
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 サイトアクセス制御システム及び記録媒体

(57)【要約】

【課題】複数のサービスサイトに負荷を分散してユーザーのアクセス要求に応え、情報提供サービスを行う際に、効率よく負荷を分散させ、常にユーザーに最適なサービスサイトからサービスを行うことができ、負荷の偏りを軽減する。

【解決手段】サービスサイト2のメインサーバ2a及びサービスサイト3のミラーサーバ3aはサイト負荷情報を収集してディスパッチサーバ4に送信する。ディスパッチサーバ4は、メインサーバ2a及びミラーサーバ3aで随時計測されるサイト負荷情報を蓄積し、ユーザーサイト1からアクセス要求があると、該サイト負荷情報に基づいて、メインサーバ2a及びミラーサーバ3aのうちのサイト負荷の軽いほうのサーバを選定して、当該サーバのIPアドレスをユーザーサイト1に通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供する主サービスサイトと、前記通信ネットワークを介して前記主サービスサイトと同等の情報サービスを提供する副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに接続され、これらのサイト負荷情報を保持し、且つ前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、前記サイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備することを特徴とするサイトアクセス制御システム。

【請求項2】前記ディスパッチ手段は、前記主サービスサイト及び副サービスサイトの複数種のサービス負荷の統計的情報を含む情報テーブルを保持する情報テーブル格納手段を備え、該情報テーブルに基づいて、サービスサイトを選択することを特徴とする請求項1に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項3】前記主サービスサイト及び副サービスサイトは、各サイトにおけるサービス負荷情報を計測する手段と、該手段における計測結果を前記ディスパッチ手段に供給する計測結果供給手段と、を含み、前記ディスパッチ手段は、前記計測結果供給手段から供給された計測結果に基づいて、サービスサイトを選択することを特徴とする請求項1又は2に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項4】前記主サービスサイト及び副サービスサイトの前記計測結果供給手段は、それぞれ、所定時間毎に前記サービス負荷情報を計測し、計測結果を前記ディスパッチ手段へ供給する手段を含むことを特徴とする請求項3に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項5】前記ディスパッチ手段は、前記主サービスサイト及び副サービスサイトにサービス負荷情報を計測させる手段を含むことを特徴とする請求項3に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項6】前記ディスパッチ手段は、前記主サービスサイト及び副サービスサイトとは独立したサーバから構成される、ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項7】通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報に該当するアドレスにレスポンスタイム測定用データを送受してサイト負荷情報としてのレスポンスタイムを測定する主サービスサイトと、前記通信ネットワークを介して前記主サービスサイトと

同等の情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報に該当するアドレスにレスポンスタイム測定用データを送受してサイト負荷情報としてのレスポンスタイムを測定する1以上の副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに結合され、且つ前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、当該ユーザサイトのアドレス情報を前記主サービスサイト及び副サービスサイトに与え、該主サービスサイト及び副サービスサイトで計測されるレスポンスタイム情報を含むサイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備することを特徴とするサイトアクセス制御システム。

【請求項8】前記主サービスサイト及び副サービスサイトは、レスポンスタイムの測定結果が得られると、直ちに、該レスポンスタイムの測定情報を前記ディスパッチ手段に送信する手段を含むことを特徴とする請求項6又は7に記載のサイトアクセス制御システム。

【請求項9】通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報のアドレスへのファイル転送のスループットをサイト負荷情報として測定する主サービスサイトと、前記通信ネットワークを介して前記主サービスサイトと同等の情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報のアドレスへのファイル転送のスループットをサイト負荷情報として測定する副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに結合され、且つ前記通信系を介してのユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求に応答して、当該ユーザサイトのアドレス情報を前記主サービスサイト及び副サービスサイトに与え、前記主サービスサイト及び副サービスサイトからそれぞれ転送されるファイルを含む最初のタイトルページをユーザサイトに提供して、該主サービスサイト及び副サービスサイトで計測されるスループット情報を含むサイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備することを特徴とするサイトアクセス制御システム。

【請求項10】前記副サービスサイトは、前記主サービスサイトと同一のサービス情報を保持する前記主サービスサイトのミラーサイトを含む、ことを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載のサイトアクセス制御

システム。

【請求項11】アクセス要求に応答して情報サービスを提供する第1と第2のサービスサイトと、

前記第1及び第2のサービスサイトの負荷情報を保持する負荷情報保持手段と、

前記第1サービスサイト及び第2サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、前記負荷情報に基づいて、情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるディスパッチ手段と、を具備することを特徴とするサイトアクセス制御システム。

【請求項12】コンピュータを、

前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受け付ける受け付け手段と、

前記アクセス要求に対する情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択されたサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供する手段と、

して機能させるプログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ネットワーク上の情報提供サービスを、複数の共通の情報内容のサービスサイトにより行うことにより、負荷を分散させて大量のアクセスに対処するシステムに係り、特に負荷分散の効率を向上させるためのサイトアクセス制御システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットの急激な発展に伴い、インターネット上におけるWWW (World Wide Web) 又はFTP (File Transfer Protocol) による情報提供サービスが盛んに行われている。すなわち、この種の情報提供サービスは、WWWサーバを有するWWWサイト又はFTPサーバを有するFTPサイトをサービス提供サイトすなわちサービスサイトとして提供情報をサービスする。

【0003】このような、WWWサイト及びFTPサイト等における情報提供は、これらのサービスサイトがユーザからのアクセス要求を受けて、当該サイト又はそれと連携する他のサイトから、アクセスしたユーザにサービス情報を転送することにより行われる。

【0004】ところで、ネットワーク上の多数のユーザが、同一のサービスサイトに同時にアクセス要求したときには、該当するサービスサイトのWWWサーバ又はFTPサーバにアクセス要求が集中する。このように、アクセス要求が集中し過大な負荷となったときには、サー

バはアクセス要求に対応しきれなくなり、アクセスを拒否したり、ユーザサイトへの情報データの転送速度が著しく低下したり、情報データの転送が転送途中で中断されあるいは停止したりして、サービスが低下する。

【0005】このような、アクセスの集中によるサービスの低下を回避するため、同一の提供情報を、複数のサイトに配置して、負荷を分散させることが行われている。典型的な手法としては、主となるメインサイトと全く同一の提供情報（提供対象の情報）を全く同様に配置したミラーサイトを設置し、メインサイト及びミラーサイトのいずれかをアクセスすることにより、共通の情報提供を受けることができるようとする手法が知られる。

【0006】従来、このようなミラーサイトが存在するサイトを、アクセスする際に、実際に情報サービスを受けるサイトの選択は、次のようにして行っていた。すなわち、メインサイト及びミラーサイトのそれぞれに対するアドレス情報、インターネット上では通常の場合URL (Uniform Resource Locator) が予めユーザーに提示され、ユーザーが主観によって所望のURLを選択してアクセスする。又は、メインサイト及びミラーサイトのいずれかにユーザーがアクセス要求を与えると、サービスサイトからランダムに選定して割り当てたサイトのアドレス情報、例えばIP (Internet Protocol) アドレスやURLをユーザーに返し、ユーザーは割り当てられたIPアドレスやURLを用いてアクセスする。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来は、ユーザーが主観に基づいてサイトを選択したり、ランダムに割り当てられたサイトを強制的に選択させられたりしていた。このような方法でのサイトの選択には、以下のようないわゆる問題があった。

【0008】(1) サイトの選択にサイトの負荷の状態が勘案されていない。このため、アクセスが1サイトに集中したり、ユーザアクセス以外の外因によりサーバ負荷が上昇したりした場合、各サービスサイト間の負荷のバランスが崩れ、結果的にユーザへのサービスのレスポンスが遅れる。

【0009】(2) ユーザの接続条件及び各サービスサイトの負荷条件が勘案されていないため、ユーザーにとって最適なサイトへ接続されるとは限らない。

【0010】(3) サービスサイトの割当てはランダムであるため、複数のサービスサイトのうち1つのサイトのサービスが停止した場合にも、停止したサイトへアクセスが割り当たるおそれがあり、そのような場合にはサービスを提供することができなかった。

【0011】この発明は、上述した事情に鑑みてなされたもので、最適なサービスサイトからサービスを行うことができるサイトアクセス制御システムを提供することを目的とする。また、この発明は、負荷の偏りを軽減し

て快適なサービスを達成し得るサイトアクセス制御システムを提供することを他の目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、この発明の第1の観点によるサイトアクセス制御システムは、通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供する主サービスサイトと、前記通信ネットワークを介して前記主サービスサイトと同等の情報サービスを提供する1以上の副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに結合されてこれらのサイト負荷情報を保持し、且つ前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、前記サイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備する。

【0013】前記副サービスサイトは、前記主サービスサイトと同一のサービス情報を保持する前記主サービスサイトのミラーサイトを含んでいてもよい。

【0014】前記ディスパッチ手段は、前記主サービスサイト及び副サービスサイトの複数種のサービス負荷の統計的情報を含む情報テーブルを保持する情報テーブル格納手段を有し、この情報テーブルに基づいてサービスサイトを選択するようにしてよい。

【0015】前記主サービスサイト及び副サービスサイトは、各サイトにおけるサービス負荷情報を計測する手段と、該手段における計測結果を前記ディスパッチ手段に供給する手段と、を含み、前記ディスパッチ手段は、前記計測結果供給手段から供給された計測結果に基づいて、サービスサイトを選択してもよい。

【0016】前記主サービスサイト及び副サービスサイトにおけるサービス負荷情報を計測する手段及び計測結果を前記ディスパッチ手段に供給する手段は、それぞれ、所定時間毎に前記サービス負荷情報の計測及び計測結果の前記ディスパッチ手段への供給を行う手段を含んでいてよい。前記ディスパッチ手段は、前記主サービスサイト及び副サービスサイトにサービス負荷情報を計測させる手段を含んでいてもよい。

【0017】前記ディスパッチ手段は、例えば、前記主サービスサイト及び副サービスサイトとは独立したサーバから構成される。

【0018】この発明の第2の観点によるサイトアクセス制御システムは、通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報に該当するアドレスにレスポンスタイム測定用データを送受してサイト負荷情報としてのレスポンスタイムを測定する主サービスサイトと、前記通信

ネットワークを介して前記主サービスサイトと同等の情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報に該当するアドレスにレスポンスタイム測定用データを送受してサイト負荷情報としてのレスポンスタイムを測定する1以上の副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに結合され、且つ前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、当該ユーザサイトのアドレス情報を前記主サービスサイト及び副サービスサイトに与え、該主サービスサイト及び副サービスサイトで計測されるレスポンスタイム情報を含むサイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備する。

【0019】前記副サービスサイトは、前記主サービスサイトと同一のサービス情報を保持する前記主サービスサイトのミラーサイトを含んでいてもよい。前記主サービスサイト及び副サービスサイトは、レスポンスタイムの測定結果が得られると、直ちに、該レスポンスタイムの測定情報を前記ディスパッチ手段に送信する手段を含んでいてもよい。

【0020】この発明の第3の観点によるサイトアクセス制御システムは、通信ネットワークを介してのアクセスに応答して情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報のアドレスへのファイル転送のスループットをサイト負荷情報として測定する主サービスサイトと、前記通信ネットワークを介して前記主サービスサイトと同等の情報サービスを提供するとともに、与えられたアドレス情報のアドレスへのファイル転送のスループットをサイト負荷情報として測定する1以上の副サービスサイトと、前記主サービスサイト及び副サービスサイトに結合され、且つ前記通信系を介してのユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求に応答して、当該ユーザサイトのアドレス情報を前記主サービスサイト及び副サービスサイトに与え、前記主サービスサイト及び副サービスサイトからそれぞれ転送されるファイルを含む最初のタイトルページを提供して、該主サービスサイト及び副サービスサイトで計測されるスループット情報を含むサイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供するディスパッチ手段と、を具備する。

【0021】第1乃至第3の観点によるサイトアクセス制御システムにおいて、前記副サービスサイトは、前記

主サービスサイトと同一のサービス情報を保持する前記主サービスサイトのミラーサイトを含んでいてもよい。

【0022】この発明に係るサイトアクセス制御システムは、ディスパッチ手段が、主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、サイト負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択する。また、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供する。従って、各サービスサイトの負荷のバランスを保つことが可能となり、サイト資源を効率よく利用することができ、負荷の集中が回避できる。また、停止したサービスサイトへはアクセスが割り当てられないため、いずれかのサービスサイトが停止したとしても、1つのサービスサイトの停止によりユーザへのサービスが停止することはない。従って、ユーザは自動的に最も良好なサービスを受けることのできるサイトにアクセスすることができることになる。

【0023】また、この発明の第4の観点によるサイトアクセス制御システムは、アクセス要求に応答して情報サービスを提供する第1と第2のサービスサイトと、前記第1及び第2のサービスサイトの負荷情報を保持する負荷情報保持手段と、前記第1サービスサイト及び第2サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受けて、前記負荷情報に基づいて、情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択するとともに、選択したサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるディスパッチ手段と、を具備することを特徴とする。

【0024】このサイトアクセス制御システムでは、ディスパッチ手段が、サイトの負荷情報に基づいて情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択し、アクセスさせる。従って、各サービスサイトの負荷のバランスを保つことが可能となり、サイト資源を効率よく利用することができ、負荷の集中が回避できる。また、いずれかのサービスサイトが停止したとしても、停止したサービスサイトへはアクセスが割り当てられないため、1つのサービスサイトの停止によりユーザへのサービスが停止することはない。従って、ユーザは自動的に最も良好なサービスを受けることのできるサイトにアクセスすることができる。

【0025】また、この発明の第4の観点に係る記録媒体には、コンピュータを、前記通信系を介してユーザサイトからのこれら主サービスサイト及び副サービスサイトの少なくとも一方へのアクセス要求を受け付ける受け付け手段と、前記アクセス要求に対する情報サービスの提供に適するサービスサイトを選択する選択手段と、前記選択手段により選択されたサービスサイトに前記アクセス要求を発したユーザサイトをアクセスさせるべく、

該選択したサービスサイトのアドレス情報を当該ユーザサイトに提供する手段と、として機能させるプログラムが記録されている。

【0026】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1～図5を参照して、この発明の第1の実施の形態に係るサイトアクセス制御システムを説明する。

【0027】図1は、この発明の第1の実施の形態に係るサイトアクセス制御システムが組み込まれた情報提供サービスシステムの構成を示している。

【0028】図1に示す情報提供サービスシステムは、インターネットINにそれぞれ結合されるユーザサイト1、第1のサービスサイト2、第2のサービスサイト3及びディスパッチサーバ4を備えている。

【0029】ユーザサイト1は、クライアント（クライアントシステム）1aを備える。クライアント1aは、例えばルータ及び回線等の接続設備C1を介してインターネットINに接続されており、オペレータの操作に応じて、第1又は第2のサービスサイト2又は3へのアクセス要求を、ディスパッチサーバ4に送る。また、クライアント1aは、ディスパッチサーバ4から与えられるIPアドレスにより選択されたサーバをアクセスして、サービスの提供を受ける。なお、図1では、ユーザサイト1を1個だけ示しているが、インターネットIN上には、ユーザサイト1と同様の多数のユーザサイトが結合されている。

【0030】第1のサービスサイト2は、メインサイトであり、メインサーバ2aを有する。メインサーバ2aは、接続設備C2（ルータ及び回線等）を介してインターネットINに接続されている。メインサーバ2aは、サーバCPU（中央処理装置）負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間等のサイト負荷情報を所定時間毎に測定又は取得する機能を有している。メインサーバ2aは、例えば一定時間毎に得たサーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間等のサイト負荷情報をディスパッチサーバ4に供給する。

【0031】第2のサービスサイト3は、メインサイトと同様の情報を提供し得るミラーサイトであり、ミラーサーバ3aを有する。ミラーサーバ3aは、メインサーバと共通の情報内容を有しており、接続設備C3を介してインターネットINに接続されている。ミラーサーバ3aも、メインサーバ2aと同様に、サーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間等のサイト負荷情報を所定時間毎に測定又は取得する機能を有している。ミラーサーバ3aも、例えば一定時間毎に得たサーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネ

クション数、転送要求数及びコネクション確立時間等のサイト負荷情報をディスパッチサーバ4に供給する。

【0032】ディスパッチサーバ4は、ユーザサイト1から、メインサイト2及びミラーサイト3へのアクセスを管理及び制御する。ディスパッチサーバ4は、接続設備C4を介してインターネットINに接続されている。なお、ディスパッチサーバ4は、インターネットINに単独で接続され、独立した構成として示したが、第1のサービスサイト2又は第2のサービスサイト3内に設けるようにしてもよい。

【0033】ディスパッチサーバ4は、メインサーバ2a及びミラーサーバ3aから与えられるサイト負荷情報を内部に統計的に蓄積する。ディスパッチサーバ4は、ユーザサイト1からアクセス要求があると、内部に蓄積した統計的なサイト負荷情報に基づいて、メインサーバ2a及びミラーサーバ3aのうちのサイト負荷の軽いほうのサーバを選定して、当該サーバのIPアドレスをユーザサイト1に通知する。

【0034】図1の情報提供サービスシステムの機能に基づくシステム構成を図2に示す。図2に示すように、このシステムは、実質的に、クライアント1a、メインサーバ2a、ミラーサーバ3a及びディスパッチサーバ4から構成されている。メインサーバ2aは、サーバCPU負荷測定部21、回線使用率取得部22、ディスク入出力負荷取得部23、コネクション数取得部24、転送要求数取得部25及びコネクション確立時間取得部26を有している。ミラーサーバ3aは、メインサーバ2aと実質的に同一に構成されている。

【0035】ディスパッチサーバ4は、サイト情報蓄積部41、サイト情報テーブル格納部42及び振り分け管理部43を有している。

【0036】メインサーバ2aのサーバCPU負荷測定部21は、メインサーバ2a(又はミラーサーバ3a)のCPU負荷(CPUの負荷)を一定時間間隔で取得する。サーバCPU負荷測定部21は、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0037】回線使用率取得部22は、メインサーバ2a(又はミラーサーバ3a)の属するサービスサイト2(又は3)とインターネットINとを接続している回線の使用率を一定時間間隔で取得する。回線使用率取得部22は、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0038】ディスク入出力負荷取得部23は、当該メインサーバ2a(又はミラーサーバ3a)のディスク入出力負荷を一定時間間隔で取得し、取得した情報を、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0039】コネクション数取得部24は、当該メインサーバ2a(又はミラーサーバ3a)とクライアント1

a等の端末との間のセッション数をなわちコネクション数を一定時間間隔で取得する。コネクション数取得部24は、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0040】転送要求数取得部25は、サービスしているプロトコルにおけるコネクション確立時間を取得し、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。例えば、コネクション確立時間取得部26は、ユーザサイト1のクライアント1a等の端末からのHTTP(HyperText Transfer Protocol)による接続要求があつてから、HTTP接続が完了するまでの平均時間を一定時間間隔で取得し、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0041】コネクション確立時間取得部26は、ユーザサイト1のクライアント1a等の端末からのHTTP(HyperText Transfer Protocol)による接続要求があつてから、HTTP接続が完了するまでの平均時間を一定時間間隔で取得する。コネクション確立時間取得部26は、取得した情報を、逐次、ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41に供給する。

【0042】負荷情報としては、サーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間の他に、平均スループット等を用いることができる。

【0043】ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41は、メインサーバ2a及びミラーサーバ3aのサーバCPU負荷測定部21、回線使用率取得部22、ディスク入出力負荷取得部23、コネクション数取得部24、転送要求数取得部25及びコネクション確立時間取得部26等から供給されるサーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間の各情報を収集し、サイト情報テーブル格納部42のサイト情報テーブルに蓄積する。

【0044】サイト情報蓄積部41は、サイト情報テーブル格納部42にサーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間の各情報を収集し蓄積する際に、統計処理を施す。サイト情報テーブル格納部42は、図3に示すように、サイト毎の、サーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間の各情報からなるサイト情報テーブルを格納する。

【0045】振り分け管理部43は、サイト情報テーブル格納部42に格納されたサービスサイト毎のサイト負荷情報を、なわちサーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間の各情報に基づき所定の選択アルゴリズムに従って、サイト負荷情報を比較し、ユーザに対し

11

てサービスの品質が高いと思われるサービスサイトを選択する。この振り分け管理部43におけるサイト負荷情報の比較結果に基づく選択アルゴリズムは、サーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数、コネクション確立時間及びインターネットINと接続されている回線の使用率等は小さい又は低いほうがユーザに対するサービスの品質が高いと判定し、平均スループットは高いほうがユーザに対するサービスの品質が高いと判定するようなアルゴリズムとする。

【0046】次に、図1及び図2に示した情報提供サービスシステムの動作について、図4～図6に示すフローチャートを参照して説明する。

【0047】まず、ディスパッチサーバ4は、サービスサイト2及び3の各サイトの負荷に関する情報を収集している。ディスパッチサーバ4のサイト情報蓄積部41は、サイト負荷情報が与えられるとその都度、図4に示す処理を起動して、まず受信した負荷情報の種類（サービスサイト2の負荷情報かサービスサイト3の負荷情報か、負荷情報は、サーバCPU負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間のうちのどれか）を判別する（ステップS11）。そして、判別した負荷情報の種類に従ってサイト情報テーブル格納部42に格納されるサイト情報テーブルの該当するサービスサイトの該当する項目に対応する個所に書き込む（ステップS12）。

【0048】ユーザサイト1からディスパッチサーバ4に対してアクセスがあった場合、ディスパッチサーバ4の振り分け管理部43は、サイト情報テーブル格納部42に格納されている各サイトからの負荷情報を比較し、最も負荷が小さいか又は最も高速な転送が期待されるなど、ユーザに対してサービスの品質が高いと思われるサービスサイトのサーバを選択する。振り分け管理部43は、選択したサーバをユーザサイト1に通知する。

【0049】この振り分け処理を、図5を参照して詳細に説明する。振り分け管理部43は、ユーザサイト1からアクセスがあると図5に示す処理を起動する。振り分け管理部43は、まず、サイト情報テーブル格納部42からサイト負荷情報を取り出し（ステップS21）、サービスサイト2と3との間でサイト負荷情報を比較する（ステップS22）。ステップS23におけるサイト負荷情報の比較により、ユーザに対してサービスの品質が高いと思われるサービスサイトが選択され決定される（ステップS23）。サービスサイトが選択されると、当該サービスサイトのサーバのIPアドレスが、ユーザサイト1のクライアント1aに通知される（ステップS24）。

【0050】その結果、ユーザサイト1のクライアント1は、通知されたサービスサイトのサーバへアクセスする。なお、サイト負荷情報の比較にあたり、サーバCPU

12

U負荷、回線使用率、ディスク入出力負荷、コネクション数、転送要求数及びコネクション確立時間は小さい又は低いほうがユーザに対するサービスの品質が高いと判定される。

【0051】したがって、システム全体としての動作の流れは、図6に示すフローチャートのようになる。

(1) サービスサイト2及び3は、各サービスサイト内で常時統計データの収集を行っており、ディスパッチサーバ4に対してサイト負荷情報を随時転送している。

10 【0052】(2) ディスパッチサーバ4は、サイト負荷情報を受け取り、転送元のサービスサイトと転送された情報の種類を認識して、サイト情報テーブル上の該当位置に書き込む。以上の処理(1)及び(2)は、ユーザサイト1からのアクセスとは非同期に実行されている。

【0053】(3) ユーザサイト1のクライアント1aからディスパッチサーバ4に対してアクセスがあった場合

（図6、ステップS31）、ディスパッチサーバ4はサイト情報テーブルより、サービスサイト2及び3の負荷情報を取得し、選択アルゴリズムに基づいてサイト負荷情報を比較して（ステップS32）、適切なサービスサイトを一意に選択決定する（ステップS33）。この際、停止中のサーバ等は当然選択しない。

【0054】(4) 決定したサービスサイトのサーバのIPアドレスをユーザサイト1のクライアント1aに返す（ステップS34）。

(5) ユーザサイト1は、与えられたIPアドレスを用いて、選択されたサービスサイトのサーバにアクセスする（ステップS35）。

30 【0055】このようにして、各サービスサイトのアクセス負荷のバランスを保つため、サイト資源が効率良く使用でき、さらには局所への負荷集中が回避できる。このことは、サービスサイトにおけるシステムダウンの防止にも寄与する。また、万一、サービスサイトがシステムダウンしたとしても、ダウンしているサービスサイトへユーザがアクセスすることはないと想定する。このため、管理者がメインテナンス等でサービスサイトを停止させた場合にも、そのサービスサイトが新たにアクセスされることができないため、容易にサービスサイトを停止してメインテナント作業を行うことができる。その結果、ユーザは自動的に最も高速にサービスを受けることのできるサービスサイトにアクセスすることが可能となる。

40 【0056】(第2の実施の形態) 図7は、この発明の第2の実施の形態に係るサイトアクセス制御システムが組み込まれた情報提供サービスシステムの構成を示している。

【0057】図7に示す情報提供サービスシステムは、インターネットINにそれぞれ結合されるユーザサイト1、第1のサービスサイト20、第2のサービスサイト30及びディスパッチサーバ40を備えている。ユーザ